

店舗名	<b>①</b> caféけんちょう
-----	--------------------

※店舗ごとに作成し、当該店舗の支給額を支給申請書に転記してください。  
 ※支給額の算定においては、テイクアウトやデリバリー等を除いた売上高を用いてください。  
 ※売上高方式又は売上高減少額方式のいずれかを提出してください。

店舗ごとの協力金支給申請額計算書

**(B区域)**

以下のフロー図の質問を基に、該当する計算方法を選択していただき、数値を入力してください。  
 支給額等を必ずご確認くださいのうえ、「上記内容で申請します」にチェックしてください。

【売上高方式】

中小企業ですか？

※ 中小企業は、飲食業については資本金の額又は出資の総額が5,000万円以下の会社又は常時使用する従業員の数が50人以下の会社及び個人。ただし、カラオケなどのサービス業については、資本金の額又は出資の総額が5,000万円以下の会社又は常時使用する従業員の数が100人以下の会社及び個人。

はい ↓ いいえ ↓

令和元年又は令和2年いずれかの6月の売上高の合計は、2,499,990円（1日当たり83,333円）を越えますか？

売上高減少額方式をご利用ください

いいえ又は不明 ↓ ※令和2年6月2日以降に開業の場合は「新規開業店特例」へ

令和元年又は令和2年いずれかの6月と令和3年の6月の売上高減少額の合計が750万円（1日当たり25万円）を超えている場合は、売上高減少額方式も選択可能です。

時短協力日数（20日）	当該店舗の支給額
25,000円 × <b>②</b> 日 =	円

※定休日・休業日も支給対象です。

上記内容で申請します

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。  
 ※売上高等は全て**税抜き**で記入してください。

令和元年又は令和2年6月の売上高	令和元年又は令和2年6月の1日当たりの売上単価
<b>①</b> <b>③</b> 4,250,000 円	<b>②</b> 42,500 円

÷ 30 日 × 0.3 =

↓ 千円単位切上

令和元年又は令和2年6月の1日当たりの売上単価
<b>③</b> 43,000 円
【上限7.5万円】

令和元年又は令和2年6月の1日当たりの売上単価	時短協力日数（20日）	当該店舗の支給額
<b>③</b> 43,000 円	<b>④</b> <b>④</b> 20 日	<b>⑤</b> 860,000 円

※定休日・休業日も支給対象です。

上記内容で申請します

**⑤**

※シートには保護がかかっており、色付きのセル及びチェック欄（）のみ入力可能です。  
 ※のセルで「チェック」と入力して変換すると、がに変わります。

**①店舗名**  
 申請する店舗名を記入してください。

**②時短協力日数**  
 1日あたりの売上高が83,333円を超えない方は「20」と入力してください。

**③令和元年又は令和2年6月の売上高**  
 1日あたりの売上高が83,333円を超える方は記入してください（課税事業者は税抜き）

**④時短協力日数**  
 1日あたりの売上高が83,333円を超える方は「20」と入力してください。

**⑤内容チェック**  
 内容に間違いがなければを記入してください。